

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村名	平内町
所属名	福祉介護課 介護保険係
担当者名	逢坂

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

第7期介護保険事業計画に記載の内容				R1年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
①自立支援・介護予防・重度化防止	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年には地域コミュニティの形態が急速に弱体化するおそれがあり、その活動の維持が課題となっている。 ・地域の力による「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが必要となる。 ・地域に住む高齢者同士が、「我が事・丸ごと」という包括的な支援に向けて互助の精神が必要となる。 	<p>【介護予防の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に資する住民主体の通いの場への65歳以上の方の参加を積極的に促す。 	住民主体の通いの場の創設	<p>多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築し、高齢者を支える地域の体制づくりを推進することを目的として、生活支援体制整備事業を町社協と連携して実施しており、その事業の中で協議体を立ち上げ、通いの場に関する会議の開催や、地区住民へ通いの場に関する説明を行うなど、通いの場創設に向けた取組を実施。</p> <p>結果、平成31年度末時点で茂浦地区、外童子地区、赤坂台地区の3箇所の住民主体の通いの場を創設している。平成31年度の通いの場開催実績は、茂浦地区15回参加者数延べ239名、外童子地区9回参加者数延べ89名、赤坂台地区9回参加者数延べ71名で合計33回の開催で、参加者数は延べ399名となっている。</p>	◎	<p>通いの場の実施箇所を徐々に増やすことができている状況であり、引き続き通いの場未創設となっている地区に出向いて説明するなど、立ち上げを支援する取組を継続して行う。</p> <p>通いの場においては、町健康増進課やリハビリテーション専門職とも連携して、介護予防と保健事業を一体的に実施できる体制づくりを進めていく必要がある。また、通いの場への参加促進のためのアウトリーチ(未参加となっている地区住民の抽出方法や訪問方法)についても、今後検討していく必要がある。</p>

行は必要に応じて適宜追加してください